

高齢者向け小容量ゲル状プロテインの開発

取組企業	企業名	株式会社スリーライズ
	担当者	代表取締役 川井 政人
	TEL	0294-33-8808
	企業HPアドレス	https://alles.amebaownd.com/

共同研究 の相手	茨城キリスト教大学 生活科学部 食物健康科学科
	講師 目黒周作
	TEL
	HPアドレス https://www.icc.ac.jp/index.html

<背 景>

株式会社スリーライズでは、半日型デイサービス「リハビリテラス アレー」を運営しています。この施設の特徴として、運動（トレーニング）を主としたサービスを提供し、健康寿命を延ばすことで、より充実した老後を過ごしていただくことです。当サービスをご利用されるお客様においては、運動により筋力量が増加し、体質の改善につながる方が多い一方で、運動の効果が出にくいお客様もおります。その原因として、普段の食生活でのタンパク質摂取量が異なるということが分かってきました。本研究開発では、気軽に摂取できるプロテインを開発することで、お年寄りがより健康的な体質改善を目指せるサービスの向上を目指します。

<研究開発の目標>

高齢者向けのプロテインとして、①摂取しやすさ（一口サイズ、とろみなど）②高たんぱく な条件を満たす製品の配合を開発し、訴求しやすいパッケージを制作します。また、試作品を開発し、モニタリングを行うことを目標とします。

<研究開発プロセス>

- ①プロテインの配合について大学と協議
- ②学生とともに商品名、パッケージデザインなどを制作
- ③試作品の開発
- ④自社顧客へのモニタリング



高齢者向け小容量ゲル状プロテインの開発

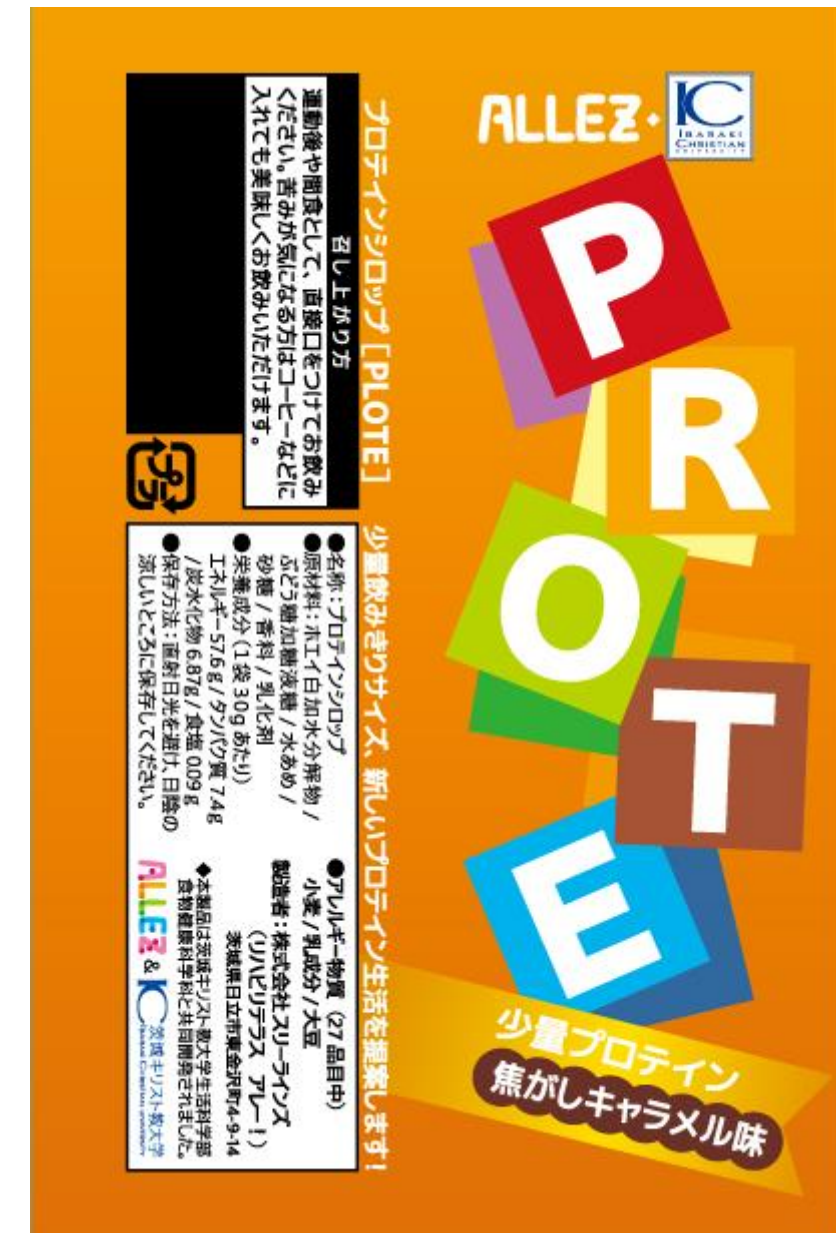
<共同研究機関との取り組み>

主に食品と健康について研究を行っている茨城キリスト教大学の目黒先生と連携することにより、試作品の官能評価（味の評価）を行い、多数の意見をもらうことで、より嗜好性の高い商品の開発につなげることができました。

また、開発した商品について、コンセプト設計からパッケージデザインまでを学生と進めることにより、弊社がこれまで関わりの少なかった若者と関係が築け、弊社に関心を持っていただくことにもつながりました。

<研究開発結果>

本研究開発により、ゲル状少量プロテイン「PROTE」を開発することができました。現時点では、自社顧客内でのモニタリングのみとなりますが、今後は近隣の施設や、自治体等の管理施設などに広げ調査を行うことで、商品のレベルアップを図っていきます。また、本商品のみではなく、自社のサービスと組み合わせた商品展開により、より高齢者の方に効果のあるサービスを目指していけると考えております。



開発したパッケージ



モニタリング用試作品